



東御市

第83号
2024.11.1

議会だより

- 2～6 …… 令和5年度一般会計決算審査
- 7 …… 令和5年度特別会計・公営企業会計決算審査
- 8～9 …… 令和6年度補正予算
- 10 …… 予算決算特別委員会報告/条例/陳情
- 11 …… 提出案件の審議結果/可決した予算・条例等
- 12～19 …… 市政を問う（14人の議員が質問）
- 19 …… 総務産業委員会視察報告
- 20 …… きらり★キラリ「花岡敏道さん」

令和5年度一般会計決算審査 認定



表紙の写真

“滋野保育園運動会”

令和5年度 一般会計

新型コロナウイルス ワクチン接種事業費
決算額
1億3,234万円

感染状況が落ち着いたこと、感染症法上の位置付けが2類から5類に移行されたことなどから、感染症対策も静かに推移しました。

しかしながら、ワクチン接種事業は臨時接種として継続されました。

春接種は初回接種を終了した高齢者・基礎疾患を有する方・医療従事者が対象、秋接種は初回接種を終了した全ての方が対象でした。

その他、子どもに対する接種も行われました。接種件数は次の通りでした。

集団接種（総合福祉センター、市民病院） 15,055件
 個別接種（市内10医療機関） 12,610件
 市外接種 12,822件

接種費用の3/4が国の負担、1/4が市の負担です。

感染症対策・予防

予防接種事業費
決算額
7,268万円

感染の恐れがある疾病と蔓延を予防し、乳幼児・学童・高齢者を疾病から守るため、定期予防接種を実施した費用です。市内医療機関で個別に接種が行われました。

積極的勧奨差し控えにより、子宮頸がん予防接種の機会を逃した方を対象とする、6年度まで継続されます。

風疹の追加的対策も、令和6年度まで継続されます。

検診事業費
決算額
3,312万円

健康診査をはじめ、胃検診・大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診・肺がん検診等を実施した費用および人間ドックの補助等に要した費用です。

妊娠出産包括支援事業費
決算額
2,066万円

妊娠から出産にかかる母親の不安を払拭し、心身の負担を軽減するため、妊娠期間中の助産師または保健師による訪問相談および助産所とつみの産後ショートステイを利用した、産後ケア事業を行いました。そのほか、各種専門相談事業を実施した費用です。

保護者の経済的負担の軽減を図るため、出産・子育て応援給付金（各5万円）が支給されました。

生活困窮者自立支援事業費
決算額
2,057万円

生活、仕事等複合的な問題を抱える生活困窮者を対象とした専門の窓口を設置し、他の専門機関等と連携しながら自立や問題の解決に向けた支援に要した費用です。



改修された高齢者センター

高齢者福祉拠点事業費
決算額
1億3,739万円

「東御市高齢者センター整備計画」に基づき、各種福祉サービスなどに繋ぐ地域包括ケアシステムの拠点、および多世代が交流できる場所とするため施設の改修を行った費用です。

障害者自立支援介護給付費
決算額
6億3,261万円

障害者総合支援法に基づき、障害者・児（身体・知的・精神）の在宅・入所者に対し、適切な介護・訓練等個別の給付に要した費用です。

国・1/2、県・1/4、市・1/4負担します。

地域生活支援事業費
決算額
2,799万円

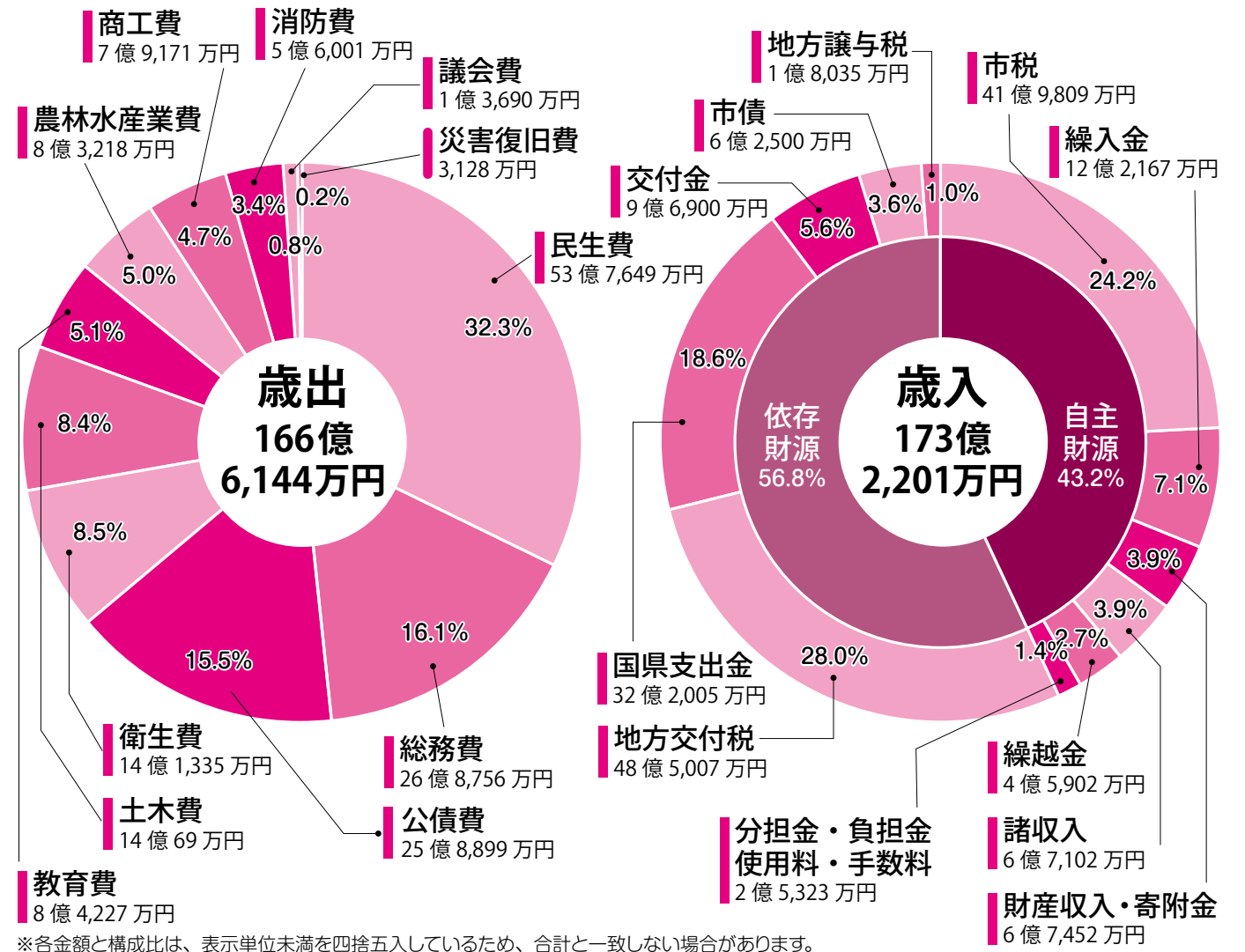
障害者の有する能力の適正に応じて生活ができるよう、障害者総合支援法に定める市町村が行う事業に要した費用です。

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う低所得世帯支援事業費
決算額
1億9,043万円

物価高騰対策として、住民税均等割が非課税である世帯等に生活支援金が給付されました。

一世帯当たり 7万円
 対象 2,697世帯（国が負担）

令和5年度 一般会計決算審査 認定



令和5年度一般会計決算額は、歳入総額173億2,201万円、歳出総額166億6,144万円となり、歳入歳出差引額は6億6,058万円、翌年度への繰越明許費の繰越財源1億1,574万円を差し引いた実質収支は5億4,484万円の黒字決算となりました。これにより、地方自治法第233条の2等の規定により財政調整基金へ2億7,242万円を積み立てることとし、残り2億7,242万円を令和6年度に繰越しました。

令和5年度一般会計決算の特徴としては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金や、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した低所得世帯支援事業、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）を活用した施設照明LED化事業のほか、高齢者福祉拠点整備事業、子ども第三の居場所開設事業、御堂地区ワイン振興施設整備事業などが挙げられます。

令和5年度一般会計決算の審査は、職員から説明を受け、必要があれば資料などを求めながら質疑を行い、各事業の決算内容を精査します。常任委員会審査の後、予算決算特別委員会ですらなる審査をし、質疑の内容や議員より出された意見・要望をもとに、今後の市政に対する附帯意見を付けました。

なお、市財政の実質公債費比率、将来負担比率はいずれも国の基準を満たしており、東御市の財政は健全であると言えます。

令和5年度
一般会計

子育て・教育

子どもサポート
センター運営事業費

決算額
2,684万円

・子どもサポートセンター
窓口機能の強化
・子どもの成長と発達の
サポート事業
妊娠期から18歳までの子
どもと家庭に対し、包括的
かつ継続的で貫いた支援体
制の整備に要した費用です。
内容としては、子ども家庭支
援員・保健師・社会福祉士・臨
床心理士・指導主事など専
門職の配置により、子ども
とその家庭および妊産婦へ
の相談全般から通所・訪問
支援を中心とした継続した
養育支援、カウンセリング、
ソーシャルワークが可能とな
り、子どもの成長ステージに
応じた切れ目のない支援体
制の整備に要しました。

子ども
第三の居場所
開設事業費

決算額
7,012万円



子ども第三の居場所

子育て家庭
支援体制
構築事業費

決算額
4,362万円

LINE相談システム
開発委託料
子育て訪問支援事業委託料
保護者支援事業委託料
子育て支援センター
改修工事費
子育て家庭支援体制構築
のための施設整備や訪問に
よる家事・育児支援などの事
業に要した費用です。

東部地区小学校
給食センター
建設事業費

決算額
50万円

東部地区小学校給食セン
ターの基本構想業務委託に
要した費用です。

滋野児童館
建設事業費

決算額
743万円

滋野児童館の実施設設計に
要した費用です。

不登校対策
特別支援教育
事業費

決算額
3,824万円

不登校児童生徒の学習機
会を保障するための中間教
室の設置、不登校児童生徒へ
の心理的ケアと支援を行う
ためのスクールカウンセ
ラー・スクールソーシャル
ワーカー・心の教室相談員等
の配置、発達に課題がある児
童生徒が集団生活を行う上
で、きめ細かな支援を行うた
めの人員配置等に要した費
用です。

学力・体力
向上対策事業費

決算額
4,252万円

標準学力調査費やALT
等の人件費など学力向上の
ための対策、体力向上支援対
策や「ゆるスポーツ」の委託に
係る支援、デジタル教材の長
所を活かした授業の推進と、
ICT機器の導入などの教育
支援等に要した費用です。



太陽光発電

地球温暖化対策
推進費

決算額
1,965万円

各種啓発を通じて市民の
環境意識の向上を図ると
ともに、再生可能エネルギー
利用促進に係る補助金に要し
た費用です。
地域電力会社「株式会社工
コパワー」とつみへの出資金
600万円も含まれます。

防犯灯設置
事業費

決算額
252万円

各区が設置する集落内防
犯灯の設置補助金および市
が設置した集落間防犯灯の
工事には要した費用です。

新設
LED化更新
27基
107基

ごみ減量
リサイクル事業費

決算額
5,169万円

生ごみリサイクル施設運
営業務委託料および、専用
袋作成業務委託に要した費
用です。
その他、各家庭に導入さ
れた、コンポスト36台、電気
式生ごみ処理機66台に対し
て支払われた補助金も含み
ます。

令和5年度
一般会計

くらし・環境

令和5年度
一般会計

農業・商工業・観光

防災意識の高揚と
防災体制の充実

農業用施設耐震
長寿命化事業費

決算額
6,222万円

防災重点農業用ため池
60ヶ所すべてのハザードマッ
プの作成が完了し、8月中に
関係区へ配布しました。
防災重点ため池60ヶ所の
内、残り35ヶ所の耐震評価を
引き続き実施していきます。
ため池の耐震はどのくら
いを想定しているか、防災訓
練との重ね合わせが必要で
はないか等の意見があり、担
当課からは、震度5強を想定
している、できれば防災訓練

東御ブランドの確立と
特産品の振興

御堂地区
ワイン振興施設
整備事業費

決算額
1億574万円

御堂地区にワイン振興施
設を整備し、祢津地区のワイ
ン振興の拠点に位置付け、東
御ブランドの強化育成を進
めていきます。



田楽池



ワインテラス御堂の外観



移動中のレッツ号

「ワインテラス御堂」は10
月3日にオープンし、土日祝
日の営業を予定しているこ
の事でした。

地域公共交通
確保維持改善
事業費

決算額
9,755万円

地域公共交通システムの
運営支援と市民の移動手段
を確保します。車輛を2台
購入し、更にAー化したデマ
ンド交通システムにより質の
高いサービスを提供します。
定時定路線バス、デマンド
交通共にルートの見直しを
したことと、どちらも利用率
が前年度比13.2%増え市民
の足として定着してきている
ことがつかえます。
6年度は10月から湯の丸
便の実証運行がスタートし
ます。

令和6年度
一般会計
公共施設
設備

金井片羽線
歩道設置事業費

決算額
1,702万円

測量設計・補償物件調査を
実施し、用地2筆を取得しま
した。工事は令和7年度を予
定しています。委員からは順
調に工事が進んでいるか質
問があり、交通安全対策事業
として、国からの補助金内示
も予定通り順調に進んでい
るごとの回答がありました。

観光地域づくり
支援事業費

決算額
2,341万円

東御市版グリーンツーリ
ズムのメニューを構築し、民
泊を中心にモニターツアーを
実施しました。
二次元コードを活用した
非対面観光ガイド動画を制
作し、情報内容の整備を図る
とともに、周遊プランを作成
し、それらを掲載した「TO
MISELFGAIDE
TOUR」を作成しました。

道路施設等修繕
事業費

決算額
1億8,704万円

道路施設の長寿命化を図
るため、点検、調査、修繕設
計及び修繕工事の実施に要
した費用です。
緊急自然災害防止対策事
業18件。市道等緊急修繕58
件を実施しました。

道路メンテナンス
補助金事業費

決算額
5,233万円

しなの鉄道線小諸滋野間
跨線橋5橋の定期点検と上
大内川橋、野行田1号橋修
繕工事の実施をしました。
委員からは3種類の橋種
の説明を求める意見が出さ
れ、担当課から違い等につ
いて説明がありました。

令和5年度
一般会計

移住定住 推進

移住定住推進
諸経費

決算額
2,077万円

移住定住推進事業として、
電話、メール、来庁、移住セミ
ナー等による相談会や移住
体験施設を利用し地元の方
との交流会を行いました。相
談件数は329件、移住体験
ツアーには、33組72人100
泊の利用があり、行政サポー
トによる移住者は47人です。
委員からは、参加者の希望に
そった体験が出来るよう検
討を求める意見があり、この
地域に住みたいといったイ
メージがある場合は、案内を
しているごとの回答がありま
した。

また、空き家懇談会の実施
や空き家バンクへの登録促
進などにより、新規登録件数
が50件、契約成立件数が13
件ありました。
空き家になる可能性のある
所有者へのアプローチとして、
福祉課、民生委員、ケアマ



令和6年度 一般会計補正予算関連

議案第76号

令和6年度一般会計

補正予算(第5号)

湯の丸高原
スポーツ交流施設
改修事業費

500万円

湯の丸高原荘の照明LED化に要する費用です。

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速事業)を活用して進められます。

議案第78号

介護保険特別会計

補正予算(第2号)

2,966万円

過年度介護保険給付費精算金および上田広域連合負担金等に関する補正です。

議案第77号

令和6年度一般会計

補正予算(第6号)

体育施設等
改修事業費

1億9,308万円

体育施設の照明のLED化に要する費用です。

地域脱炭素移行・再エネ推進交付金(重点対策加速事業)を活用して進められます。

湯の丸高原
屋内運動施設
事業費

1,320万円

屋内運動施設(屋内プール)の屋根の修繕費用です。

障害児

通所給付費

5,461万円

対象者増加に伴う補正です。障害児の通所サービス(放課後デイサービス、児童発達支援サービス等)に使われます。

国が1/2、県が1/4市が1/4負担します。

子ども・子育て
応援事業費

1,004万円

出生児童がいる家庭の経済負担軽減に要する費用の補正です。

令和6年4月1日以降に生まれた子ども、一人当たり

5万円の商品券が支給されます。国が44%、県が28%、市が28%負担します。

墓地関連事業費

200万円

市営合葬式墓地の基本設計委託料です。

令和6年度後半に設計が進められ、令和7年度に着工の予定です。

道路施設等

修繕事業費

2,220万円

区長期事業計画に基づく道路事業実施、および市道の舗装等修繕工事に要する費用の補正です。

学校教育事務

諸経費

1,232万円

老朽化した滋野教職員住宅(2棟)の解体に要する費用です。

部活動
地域移行事業費

139万円

部活動地域移行統括コーディネーター配置業務委託料及び、モデルケース試行業

務委託料に要する費用です。

農林水産施設

災害復旧費

1,450万円

7月14日豪雨により被災した農業用施設の復旧、および農地の復旧に要する費用の補正です。

議案第84号

令和6年度一般会計

補正予算(第7号)

保育園維持補修

事業費

979万円

和保育園のテラス屋根の改修に要する費用の補正です。

東部地区

小学校給食センター

建設事業費

6,319万円

東部地区小学校給食センターの実施設設計等に要する費用の補正です。本事業費を削除した修正案が提出されましたが、採決の結果、原案の通り可決されました。

修正案の提案理由、原案賛成、修正案賛成の討論内容は次ページの通りです。

総務産業委員会 現地調査報告

9月18日、交流・関係人口の創出や地域振興を目的とした「地域産物販売促進施設」が完成しました。

今後は地元の方が関わる、株式会社カーヴ・ドミッドウが指定管理者として運営されます。

「ワインテラス御堂」と施設の愛称が決まり、しばらくは、土曜、日曜

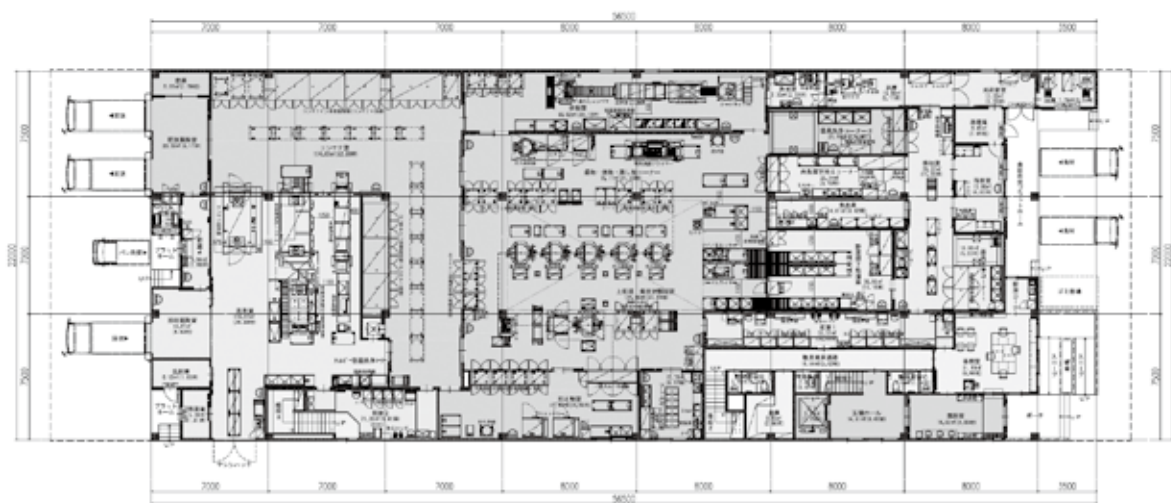
今後は地元と話し合いをしながら、外構・周辺の残地利用等の事業が行われます。



東御市地域産物販売促進施設

施設管理は市が行いますが、まずは地元の皆さんが誇れる観光拠点となるよう、協議を進めていき、来場者の心に残る施設を目指した取り組みを望む視察となりました。

左図は、基本設計請負業者・栄養教諭 調理主任・検討委員会等で検討され、まとめられた給食センター一階の平面図です。



給食センター 一階平面図

※ 議会全員協議会 開催時点での計画案であり、確定したものではありません。

議案第84号

令和6年度一般会計

補正予算(第7号)

に対する修正案

修正動議

提出者の説明

無所属

田中博文議員

私たちは給食センター建設に反対をしているわけではなく、市の早急にも見える進め方に問題があると感じています。

保護者の皆さんに説明会がきちんと開かれるまでの4カ月程の間、さまざまな情報が飛び交い、心配や不安な気持ちになったと思います。自分も小

原案に対し東部地区小学校給食センター建設美設計等業務委託料6315万8千円を削除し関係する金額を修正するものです。

先ず修正動議について提出者の説明があり、修正案を含めて討論が行われました。

採決の結果、原案が賛成多数で可決されました。

原案賛成者の討論

東翔の会

大塚博文議員

給食センター建設は、順調に進められたとしても数年を要する大事業です。

その間に、老朽化した給食室に雨漏りなどが生じ、給食作りに支障をきたす可能性が非常に高いと考えます。

確かに、基本設計の概要が公表されて僅かの期間で次の段階の補正予算が提出されたのは拙速ではないかと感じました。

しかし、提示された基本設計の資料を見ると、細かいところまでよく検討されており、実施設計に進めたいと考えることも理解できます。実施設計の結果、基本設計を変更しなければならぬことも生じると考えます。従って、手続きの問題にこだわることなく、進められる時にはどんどん進めるべきと考えます。

修正案賛成者の討論

日本共産党

窪田俊介議員

予算原案の真剣な審議の結果、6315万8千円の東部地区小学校給食センター建設実施設計業務委託料を削除した修正案が動議提出されました。これに賛成します。3月定例会の請願採択を経て、議会は市民の心情に添えて丁寧な対応を市に求め、個々の議員も保護者の意見を聞き、市政への市民参加の実現に尽力していました。

「なぜ、そんなに急ぐのか」「市民を置き去りにしてしまっているのか」という疑問に対し、明確な回答は得られませんでした。地域に共感せず市民への共感が欠けていないか。市政の進め方が、もはや市民も議会も、教育委員会や法すらも置き去りになつていないか懸念が増しました。よって、一般会計補正予算(第7号)修正案に賛成します。

議案番号	案 件	採決 結果	予算決算特別委員会 審査結果	
令和5年度東御市歳入歳出決算（関連記事P2～7）				
議案第 69 号	令和5年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について 歳入 173 億 2,201 万円、歳出 166 億 6,144 万円で6億 6,058 万円の黒字	○	○	
議案第 70 号	令和5年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入 29 億 8,784 万円、歳出 29 億 4,117 万円で 4,666 万円の黒字	◎	◎	
議案第 71 号	令和5年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入 30 億 788 万円、歳出 29 億 9,286 万円で 1,502 万円の黒字	◎	◎	
議案第 72 号	令和5年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入 4 億 1,619 万円、歳出 3 億 9,912 万円で 1,707 万円の黒字	◎	◎	
議案第 73 号	令和5年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 事業収入 7 億 1,423 万円、事業費用 5 億 5,726 万円で 1 億 5,697 万円の黒字	◎	◎	
議案第 74 号	令和5年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 事業収入 13 億 4,433 万円、事業費用 11 億 5,870 万円で 1 億 8,563 万円の黒字	◎	◎	
議案第 75 号	令和5年度東御市病院事業会計決算認定について 事業収入 20 億 8,010 万円、事業費用 20 億 6,130 万円	◎	◎	
令和6年度東御市補正予算（関連記事P8～9）				
議案第 76 号	令和6年度東御市一般会計補正予算（第5号） 湯の丸高原荘の照明 LED 化及び福祉医療システムの改修費用等 524 万円の増額補正	◎	—	
議案第 77 号	令和6年度東御市一般会計補正予算（第6号） 生活保護に要する費用等 5億 7,570 万円の増額補正	◎	◎	
議案第 78 号	令和6年度東御市介護保険特別会計補正予算（第2号） 過年度介護保険給付費精算金の確定等 2,966 万円の増額補正	◎	◎	
議案第 79 号	令和6年度東御市水道事業会計補正予算（第1号） 人事異動に伴う人件費等 454 万円の増額補正	◎	◎	
議案第 84 号	令和6年度東御市一般会計補正予算（第7号） 東部地区小学校給食センター実施設計等に要する費用 7,678 万円の増額補正	○	○	
条例一部改正等		採決 結果	常任委員会審査結果 総務産業 社会文教	
議案第 80 号	東御市福祉医療費給付金条例及び東御市国民健康保険条例の一部を改正する条例 国民健康保険法等の一部改正に伴い、被保険者証が廃止されることによる所要の改正	◎	— ◎	
議案第 81 号	東御市地域産物販売促進施設条例の一部を改正する条例 県営畑地帯総合土地改良事業称津御堂地区において、換地による登記が完了したことによる所要の改正	◎	◎ —	
議案第 82 号	長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について 被保険者証の新規発行がなくなることに伴う規約の変更	◎	— ◎	
人事				
議案第 83 号	人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員候補者として荻原輝久さんを推薦する	◎	— —	
請願・陳情				
陳情第 35 号	母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	議席配布	— —	
陳情第 36 号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	不採択	— 不採択	
陳情第 37 号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	採択	— 採択	
陳情第 38 号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	不採択	— 不採択	
請願第 39 号	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	— 不採択	
陳情第 40 号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情書	採択	— 採択	
議員提出議案				
議員提出議案 第9号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	◎		
議員提出議案 第10号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の提出について	◎		

※金額は、万円未満を四捨五入しています。 ※常任委員会・予算決算特別委員会審査結果の「—」印は、委員会に付託されなかった案件です。

令和6年
9月

定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号	会派名・議員名 案 件	さわやかな風の会					東翔の会				しんせいの会			公明党	日本共産党	無		
		長越修一	依田俊良	山崎康一	中村真一	滝澤栄一	田中 信寿	瀬田智之	大塚博文	大谷真宙	花岡豊一	村山弘子	斉藤哲	高木真由美	西山福恵	窪田俊介	市毛真弓	田中博文
議案第 69 号	令和5年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議案第 84 号	令和6年度東御市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	/	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	●	●	●
陳情第 36 号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書	●	●	●	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
陳情第 37 号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書	●	○	●	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第 38 号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情	●	●	●	/	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	●
陳情第 39 号	「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	●	●	●	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○

本会議での各議員の賛否（賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」）

予算決算特別委員会審査報告

予算決算
特別委員会委員長
瀬田 智之 議員

予算決算特別委員会は、本定例会に上程の令和5年度一般会計決算認定の他、特別会計決算認定3件、公営企業会計決算認定3件、令和6年度の補正予算4件について審査しました。

審査においては、総務産業委員会、社会文教委員会の両常任委員会の詳細な予備審査報告をもとに委員間で質疑を行いました。

このうち、令和6年度補正予算（第7号）の教育課の審査では、東部地区小学校給食センター建設事業費に関連して、建設予定地の用地取得の状況について質疑があり、現在は正式な用地交渉の段階に至っていないとの回答がありました。また、東部地区小学校給食センター建設実施設計業務委託料を今回の補正予算で計上した理由等についても質疑が

あり、基本設計に関しては10月31日の完了予定であり、その後、間を空けずに実施設計に入りたいと考えているためとの回答がありました。

委員からは、「現段階で補正予算を通さなければならぬ」という理由が明確になっていないと感じる。補正予算を組んでまで急ぐ必要はないと考える。」との意見や、「用地交渉が終了していない段階で実施設計の予算を組むのは拙速感が否めない。丁寧な住民説明を重ねて、足場を固めてから事業を進めるべき。」との意見がありました。

一方で、給食センターの実施設計を急ぐ必要があるかが論点となると思うが、実施設計や用地交渉、その他手続きは時間がかかる問題であり、その間にも小学校給食施設の老朽化は進んでいくので早急に進めたいというのは理解できる。給食センター建設そのものに反対しないのであれば、事業は迅速に進めていくべき。」との意見がありました。

また、令和5年度一般会計決算認定については、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、原案を認定するにあたり、次の付帯意見をつけました。

一つ 市役所業務の複雑化、専門性の高度化の中、人材確保は困難な状況が続いている。採用の工夫とともに、今ある人材を生かし助け合える組織になるようコミュニケーションを深め、人材育成の環境整備を図りたい。

一つ 給食センター建設にあたっては、可能な限り情報を公開し、市民の理解を得ながら事業を進められたい。

一つ 不登校児童生徒は低年齢化する傾向で、小学校の不登校者数が増加している。新しい教育委員会体制のもと、改善に積極的に取り組ま

条例案等

議案第80号
東御市福祉医療費給付金条例及び東御市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の一部改正に伴い、被保険者証が廃止されることから、受給証の提示方法が変更されるため条例を改正したものです。

陳情

陳情第37号
訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情が提出されました。

審議の結果全会一致で採択され、東御市議会として、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣あてに意見書が提出されました。

陳情

陳情第40号
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情書が提出されました。

審議の結果全会一致で採択され、東御市議会として、内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣あてに意見書が提出されました。

議案第81号
東御市地域産物販売促進施設条例の一部を改正する条例

県営畑地帯総合土地改良事業称津御堂地区において、換地による登記が完了したことから、所要の改定を行い、東御市地域産物販売促進施設の位置を東御市称津3300番地に改めたものです。



避難所開設の訓練の様子

問 市では、段ボールベッドが災害時にどのくらい必要か想定し、準備していると思うが段ボールベッドの備蓄数はどのくらいか伺う。

総務部長 現在は120台



にし やま ふく え 西山 福恵 議員

問 医療的ケア児等の支援について

総務部長 提案の内容を参考に今後対応していく。

問 季節ごとの災害リスクが高まる前などにハザードマップの確認を周知する必要があると考えますがどうか。

総務部長 避難所ごと相互間調整する。不足する場合には上田市内の事業者から提供してもらえ。補充についても、適宜対応していく。

問 医療的ケア児支援センターとの連携はどのように

健康福祉部長 地震や台風など災害が起こった場合、個々に状況が異なるため、支援会議の際に確認を行っている。医療的ケア児の個別避難計画は家族、病院、支援事業所など関係機関と協議しながら、今年度末までに策定していく予定である。

問 災害時における個別避難計画を進めているが、今後の予定はどうか。

健康福祉部長 経済的困窮に陥るリスクがあること。介護者の肉体的・精神的疲労、心理的・社会的孤立のリスク、災害時の避難体制の確保など様々な課題がある。

健康福祉部長 医療的ケアが必要な家庭に対しセンターを紹介したり情報取組に活用するなど、日頃から連携している。

問 今後の課題は何か。

災害対策について

を備蓄している。

問 実際に避難所を開設した場合足りるか、補充はどのようなか。

総務部長 避難所ごと相互間調整する。不足する場合には上田市内の事業者から提供してもらえ。補充についても、適宜対応していく。

健康福祉部長 医療的ケアが必要な家庭に対しセンターを紹介したり情報取組に活用するなど、日頃から連携している。

問 今後の課題は何か。



はな おか とよ かず 花岡 豊一 議員



自分の思いを伝えるツール

問 高齢者が住み慣れた場所で暮らしたいなど、希望を伝える方法は何か。

健康福祉部長 市では、高齢者自身が医療や介護が必要な状態になっても自身がどのように過ごしたいのか

健康福祉部長 家族や本人の支援にあたる医療チームで話し合い、ご本人の希望する医療やケアについて共有を図っている。

問 地域包括ケアシステムの取組の一つ、認知症施策の取り組みは何か。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

問 シビックプライド（愛着形成）の醸成をどのように進めるか。

企画振興部長 8月末よりプロの映像フリーターを講師として、幅広い地域と年齢層の方が受講する東御市フリーター塾を開講している。講座を通して人材を育成し市の魅力を全国に発信することで市への愛着や誇りの醸成を図っていく。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

問 希望や思いの情報の共有はどのように行われるか。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるための思いや希望を伝える

書きとめておく「思いを伝えるメモ」を作成して普及促進を図っている。ほか

に万が一に備えて書き記す「マイライフノート」が東御市社会福祉協議会にある。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。

健康福祉部長 早期発見、早期対応が大切であることから、認知症早期集中支援チームが組織されている。家族からの相談には「認知症ケアガイド」を用いて必要なサービスへつなげている。



おお つか ひろ ふみ 大塚 博文 議員

公民館の利用状況および生涯学習講座の開講条件はどうなっているか

問 公民館の利用申し込みがオンライン化されたが、問題は発生していないか。オンラインでの申し込みが面倒なので、地域の公民館を利用しているとの声も聞

企画振興部長 特に、問題は発生していない。地域の公民館を利用しているとの認識はないが、今後も利用しやすいように配慮していく。

企画振興部長 これまでの受講者や講師を中心に自主運営グループを立上げ、「社会教育団体」として活動して頂くことで学びの場を確保したい。

生涯学習講座の開講条件が、本年度から厳しくなっている。最小開講人数を5人、7人、10人と増やしていくこと、連続受講年数を3年迄とすること、受講料が約2倍になることの意図は何か。

企画振興部長 最小開講人数を増やすことで幅広い年齢層が集まることを期待している。連続受講年数の制限は、卒業がない状態を解消し、より多くの市民に可能性とチャンスを提供したい。

企画振興部長 これまでの受講者や講師を中心に自主運営グループを立上げ、「社会教育団体」として活動して頂くことで学びの場を確保したい。

長期休暇中の児童館開館時間について

問 この夏休みから、試しに30分繰り上げている。非常に好評と聞くが、恒久的に継続できないか。

教育次長 スタッフの確保など難しい問題もあるが、前向きに検討する。



和公民館

企画振興部長 最小開講人数を増やすことで幅広い年齢層が集まることを期待している。連続受講年数の制限は、卒業がない状態を解消し、より多くの市民に可能性とチャンスを提供したい。

企画振興部長 これまでの受講者や講師を中心に自主運営グループを立上げ、「社会教育団体」として活動して頂くことで学びの場を確保したい。



東御市体育施設



せ た とみ ゆき 瀬田 智之 議員

スポーツ振興について

問 スポーツ施設の現状は。企画振興部長 市では東御市体育施設条例で定める体育館、グラウンド、テニスコート、マレットゴルフ場などのほか、屋内運動施設特設プールをはじめとする

湯の丸高原のスポーツ交流施設などを合わせた20施設を整備している。一方で、施設については建設から40年を経過し、老朽化が進んだ施設もあることから、令和3年度に改定した公共施設等総合管理計画に沿いながら、順次長寿命化や改修工事などを計画的に実施している。

問 市民の新たなスポーツニーズにどう向き合うのか。企画振興部長 スポーツ施設等のハードの整備と活用については、いつでもどこでも、誰でも楽しめる場の提供を目標に掲げている。社会実験としてアーバンスポーツエリアを開放したが、小・中学生の利用が多くみられ、一定の需要がわかった。遊休施設などの既存施設の有効活用なども考え、これからのスポーツ振興はどうあるべきか研究する。



東御市役所

問 過去の税収の推移はどうだったのか。

市民生活部長 市税全体の収入額は、東御市が発足した平成16年度は38億2452万1千円、令和5年度は41億9808万6千円、平

問 納税義務者の推移はどうか。

市民生活部長 平成16年度の個人市民税の収入額は、9億6740万6千円、令和5年度は14億3374万3千円で、平成16年度と比較すると、4億6633万7千円、48.2%の増である。

大綱の策定について

2) 大綱は、教育行政における地域住民の意向をより一層反映させる等の観点から、地方公共団体の長が策定するものとしているが、教育行政に混乱を生じることがないようにするため、総合教育会議において、地方公共団体の長と教育委員会が、十分に協議・調整を尽くすことが肝要であること。

文部科学省 平成26年7月17日通知

市長 令和7年度予算の編成は始まっているので答えることができない。



田中 博文 議員

人口減少時代における市の財政見通しについて

問 過去の税収の推移はどうだったのか。

市民生活部長 市税全体の収入額は、東御市が発足した平成16年度は38億2452万1千円、令和5年度は41億9808万6千円、平

問 この間、市としてはどのような対応をしてきたのか。

市民生活部長 市では、納税意識の啓発と納税環境を整えている。租税教育を市内小・中学校で税務署等の協力を得て実施し、納税意識の啓発を行っている。また税金の支払いやすい環境を整えるため、口座振替を基本として、コンビニでの支払い、クレジットカード納付、スマホ決済を導入した。



市毛 真弓 議員

・教育行政について ・給食費物価高騰分の負担増について

問 令和5年6月開催の総合教育会議で第3期東御市教育大綱原案の検討について、第2期から変更しなくてもよいという要旨で議論したとのことだが、これは市長の判断か、教育委員会からの提起か。

教育次長 教育次長が市長の意向を確認し発言した。

問 市長も教育委員も、教育大綱の内容、扱いに関する発言記録は一切ない。一括答弁で、その後市長と打ち合わせを行いながら変更しない方針が決定したとあるが、市長と打合せたのは誰か。

教育次長 教育次長を含めた教育委員会事務局職員である。

問 地方教育行政法の逐条解説には教育大綱策定にあたり教育委員会と十分に協議し、成されたのか。

教育次長 6月の総合教育会議で協議し、市長と打合せ等を行いながら、教育大綱の基本理念は変更しない方針を決定。令和6年2月21日に第3期教育大綱及び基本計画が決定した。



大谷 真宙 議員

熱中症の状況と市の熱中症対策について

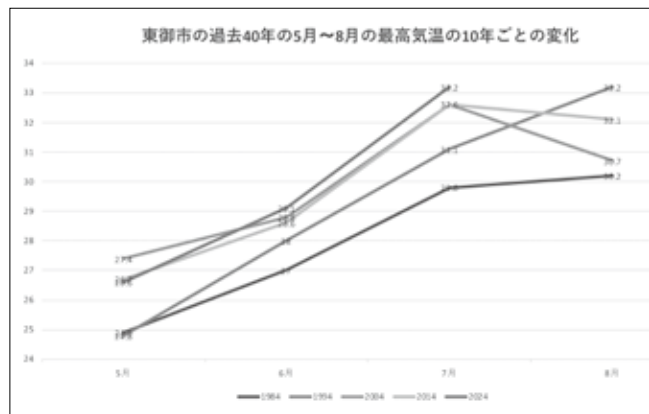
問 10年ごとに40年間気温が大きく変化した。最高気温が年を経ること上昇しているのが分かる。6月、7月の暑さには市民の大勢の方が悩まされ、不安にいられたと思う。市の熱中症対策

は急ぎ強化すべきところと考える。熱中症による救急搬送の件数、発症時の状況はどうか。

健康福祉部長 最近5年間で東御消防署が救急搬送した人数は79人で、65歳以上の高齢者が60%、発生した場所のうち47%が住宅だった。

問 熱中症対策について、今後、市はどのように取り組むか。

健康福祉部長 市民一人ひとりが、自らと身近な人の命を熱中症から守る行動を自発的に取られるよう意識の醸成を図るとともに、及ばないところを市が補い、熱中症による被害をできる限り抑制するよう、庁内全ての部署が情報を共有し、連携して取り組む。



問 世帯ごとや区の公民館のエアコン普及率は把握しているか。

企画振興部長 世帯ごとのエアコンの普及状況は把握していない。区の公民館は33の区で設置済みである。

問 小学校の下课時間帯が一番暑い。対策はしているか。

教育次長 涼しい服装や帽子の着

問 現在の取組状況はどうか。

健康福祉部長 市では、重層的支援整備事業への移行を視野に相談支援、参加支援、地域づくりに向けた取り組みを進めている。



リニューアルされた相談窓口

問 ヤングケアラー支援について

問 ヤングケアラーに対する市の認識はどうか。

健康福祉部長 核家族の進展やひとり親世帯の増加等により家事やケアを担える大人が少

問 ヤングケアラーに対する理解を深めるためには、教員や保育士また子どもや保護者への周知・啓発が必要と思うが見解はどうか。

教育次長 学校、保育所においてはポスターの掲示等を行い、教員、保育士、また保護者などへはリーフレット等の配布を通じて再度周知していく。

*その他、「書かない、待たない、回らない」窓口等について質問した。



高木 真由美 議員

改正社会福祉法を受けた重層的支援体制整備事業について

問 今後の取組はどうか。

健康福祉部長 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活が継続できるよう、日常生活支援等のサービス基盤づくりに取り組む。

問 ヤングケアラーに対する今後の対応はどうか。

健康福祉部長 個々の家庭の状況を丁寧把握するとともに、関係者間の連携を密に取りながらその家庭全体を総合的に支援し、子どもがヤングケアラーから脱却できるようにしていく。



東御市に生息する絶滅危惧にあえぐ

貴重な「蝶」の調査・観察

蝶との出会いはいつからですか

花岡さん 小学生の頃は昆虫採集がブームで、夏休みの自由研究をきっかけに興味を持ち、大学では昆虫研究会を立ち上げました。

オオルリシジミの保護活動に関わったきっかけは

花岡さん 中学生の時には日本鱗翅学会に入会して、オオルリシジミが絶滅の危機にあることは知っていましたので、旧北御牧村で保護活動が始まった時に知人に誘われて参加しました。

現在の活動について教えてください

花岡さん オオルリシジミについては北御牧地域の皆さんにお任せして、近年は同

じく全国レベルの絶滅危惧種である湯の丸高原のミヤマシロチョウの保全活動に力を注いでいます。

活動を通じて伝えたことは

花岡さん 祢津小学校でハヤシミドリシジミの飼育学習を10年以上してきて感じたのは、長野県や東御市の自然と歴史文化を子供の頃からもつと知ってほしいということです。

そして、温暖化などのためにその自然も大きく損なわれつつあることも地域の皆さんには知ってほしいと思います。

今後の活動は

花岡さん 湯の丸高原でのミヤマシロチョウの保全活動は、山の上ということもあってなかなか困難ですが、孫子

の世代まで貴重な自然が残るように、全国の保全組織なども協力して続けていきます。



ミヤマシロチョウ

取材の感想

蝶に関するたくさんさんの専門誌や百科事典に掲載を求められる花岡会長が、「気候変動により高山蝶に危機が迫っている。」

特にミヤマシロチョウが衰えている」と説明くださいました。

改めて地球温暖化に対して、私たち全員が行動しなければならぬ事を教えて頂きました。

あとがき

第6期市議会議員の任期も11月20日をもって、新メンバーに入れ替わります。

思い返してみると、この4年間はコロナ禍の中でいろんな行事が止まってしまったり、逆にコロナの流行に対応する様々な予算が動いたり、激動の日々でした。

その中で市民にとって何が必要なのか、どう対応することが大切なのか、ひとりひとりに寄り添った市政であることを大切に考えた議会運営をし、またそれをしっかりと伝える議会だよりを考えました。

こうした議会の取り組みを次期改選メンバーに引き継ぎます。

広報調査特別委員長

村山 弘子

広報委員

村山 弘子
田中 博文
滝澤 栄一
西山 福恵
斉藤 哲
花岡 豊一
大塚 博文
中村 眞一

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市県281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
再生紙を使用しています。
植物油インキを使用しています。



〔東御市議会広報紙〕 第83号 ◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 中村 眞一
◆発行日/令和6年11月1日 ◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/有限会社大和印刷

この広報は議員の自主編集で発行しています。

明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか…

議会傍聴へようこそ

令和6年12月定例会における一般質問は
12月9日～10日に予定されています。